

本講義の概要

- 情報通信の数理

- ★ 情報理論

- ★ 符号理論

- ★ 暗号理論

- それを支える数学

- ★ 有限体とその上の線型代数・Galois 理論

- ★ 計算量の理論

情報通信を行なう際の要請

- 効率的に → 情報理論
- 確実に → 符号理論
- 安全に → 暗号理論

情報通信を行なう際の要請

- 効率的に → 情報理論
- 確実に → 符号理論
- 安全に → 暗号理論

情報理論 (符号化・情報量の理論)

- 伝えるべき情報をより効率良く伝えるには
- 「効率の良さ」を計る
 - ★ 伝えるべき「情報の量」を計る
 - ★ 伝える為の「手間」を計る

→ **Shannon**

「情報の量は伝えるのに必要な手間と一致」

ASCII code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
0	(control characters)															
1	(control characters)															
2		!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
6	'	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

7 bit で 1 文字を表す (実装上は **8 bit** にする)

ASCII code

A	01000001	J	01001010	S	01010011
B	01000010	K	01001011	T	01010100
C	01000011	L	01001100	U	01010101
D	01000100	M	01001101	V	01010110
E	01000101	N	01001110	W	01010111
F	01000110	O	01001111	X	01011000
G	01000111	P	01010000	Y	01011001
H	01001000	Q	01010001	Z	01011010
I	01001001	R	01010010		

モールス符号 (Morse code)

A	· -	J	· - - -	S	...
B	- ...	K	- · -	T	-
C	- · - ·	L	· - ..	U	.. -
D	- ..	M	- -	V	... -
E	·	N	- ·	W	· - -
F	.. - ·	O	- - -	X	- .. -
G	- - ·	P	· - - ·	Y	- · - -
H	Q	- - · -	Z	- - ..
I	..	R	· - ·		

モールス符号 (Morse code)

1 文字のための符号長が区々

← 頻度の高い文字は短く、低い文字は長く

→ 頻度まで考慮して符号長の期待値を短く

… 頻度 (出現確率) を考慮して
符号効率の定式化を考える

モールス符号 (Morse code)

1 文字のための符号長が区々

← 頻度の高い文字は短く、低い文字は長く

→ 頻度まで考慮して符号長の期待値を短く

… 頻度 (出現確率) を考慮して
符号効率の定式化を考える

モールス符号 (Morse code)

1 文字のための符号長が区々

← 頻度の高い文字は短く、低い文字は長く

→ 頻度まで考慮して符号長の期待値を短く

… 頻度 (出現確率) を考慮して
符号効率の定式化を考える

モールス符号 (Morse code)

1 文字のための符号長が区々

← 頻度の高い文字は短く、低い文字は長く

→ 頻度まで考慮して符号長の期待値を短く

… 頻度 (出現確率) を考慮して
符号効率の定式化を考える

各符号語の長さが異なると問題も生ずる

→ 一意復号可能か？

→ 一意復号可能としても瞬時復号可能か？

各符号語の長さが異なると問題も生ずる

→ 一意復号可能か？

→ 一意復号可能としても瞬時復号可能か？

各符号語の長さが異なると問題も生ずる

→ 一意復号可能か？

→ 一意復号可能としても瞬時復号可能か？

例: $S = \{a, b, c\}, T = \{0, 1\}$

$a \mapsto 0$

$b \mapsto 01$

$c \mapsto 001$

「001」が ab か c が判らない

→ 一意復号可能でない!!

例: $S = \{a, b, c\}, T = \{0, 1\}$

$a \mapsto 0$

$b \mapsto 01$

$c \mapsto 001$

「001」が **ab** か **c** か判らない

→ 一意復号可能でない!!!

例: $S = \{a, b, c\}, T = \{0, 1\}$

$a \mapsto 0$

$b \mapsto 01$

$c \mapsto 001$

「001」が ab か c か判らない

→ 一意復号可能でない!!!

例: $S = \{a, b, c\}, T = \{0, 1\}$

$a \mapsto 0$

$b \mapsto 01$

$c \mapsto 11$

一意復号可能ではあるが、

「011...」まで見ただけでは

ac... か bc... か判らない

(「0111」なら bc、「01111」なら acc)

→ 瞬時復号可能でない

例: $S = \{a, b, c\}, T = \{0, 1\}$

$a \mapsto 0$

$b \mapsto 01$

$c \mapsto 11$

一意復号可能ではあるが、

「011...」まで見ただけでは

ac... か bc... か判らない

(「0111」なら bc、「01111」なら acc)

→ 瞬時復号可能でない

例: $S = \{a, b, c\}, T = \{0, 1\}$

$a \mapsto 0$

$b \mapsto 01$

$c \mapsto 11$

一意復号可能ではあるが、

「011...」まで見ただけでは

ac... か bc... か判らない

(「0111」なら bc、「01111」なら acc)

→ 瞬時復号可能でない

例: $S = \{a, b, c\}, T = \{0, 1\}$

$a \mapsto 0$

$b \mapsto 01$

$c \mapsto 11$

一意復号可能ではあるが、

「011...」まで見ただけでは

ac... か bc... か判らない

(「0111」なら bc、「01111」なら acc)

→ 瞬時復号可能でない